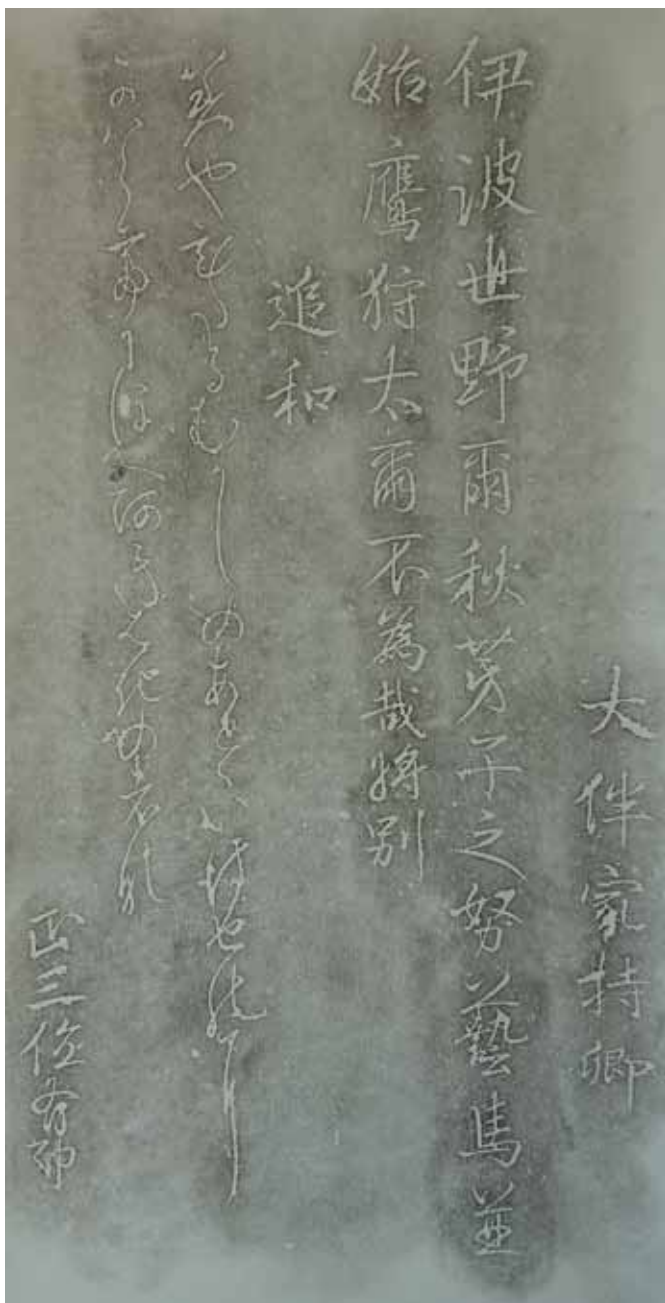


高岡市万葉歴史館 秋の特別企画展

田村泰秀万葉拓本展



卷十九・四二四九番歌 嘉永六年（一八五三）建立 富山市東岩瀬

なぜ、近世人は万葉のうたを碑いしうたにしていったのか――

○記念講演会○

「万葉歌碑に託された願い ―江戸から平成へ―
（『万葉二千三百碑』出版に寄せて）」

講師：富田 敏子 氏（全国万葉協会会長）

日 時：10月7日（日）午後2時～3時

会 場：高岡市万葉歴史館 講義室

定 員：先着120名

受講料：無料（観覧料が必要となります）

※お申し込みは、電話・FAX・メールなどで当館まで。

主催：高岡市万葉歴史館／公益財団法人 高岡市民文化振興事業団

協力：ミュゼふくおかカメラ館／全国万葉協会

平成30年

9月5日（水）～

10月22日（月）

田村泰秀万葉拓本展

平成30年現在、万葉歌碑は2377基を数えます。平成20年における数が1952基であったことに比べると425基の増加であり、1年あたり40基近くが建てられていることとなります。万葉愛好家の歌碑に寄せる思いは並々ならぬものがあると言えるでしょう。

それら全国の多数の歌碑を探訪し、記録し続けたのが田村泰秀氏でした。氏は昭和57年に『万葉の碑』を出版(本田義憲氏との共著)、その後『万葉千碑』『万葉千六百碑』『万葉千八百碑』『万葉二千碑』を上梓、同時に歌碑の拓本も積極的に収集していきました。

歌碑を建てて故地と万葉びとを顕彰する営みは近世期より始まります。本展では、古歌碑と呼ばれる江戸時代に建立された歌碑を、主として田村氏が収集した拓本を通して紹介します。

あわせて、ミゼふくおかカメラ館との連携展示として、写真家・牧野貞之氏が撮影した越中万葉故地の写真を展示します。



江戸時代末期建立 岐阜県養老郡養老町 卷六・一〇三四、一〇三五番歌



文政四年(一八二二)建立 東京都墨田区 卷八・一五三七、一五三八番歌

高岡市万葉歴史館連携展示 ミュゼふくおかカメラ館 「牧野貞之万葉写真展」



牧野貞之氏は入江泰吉氏に師事し、奈良をはじめとする各地の万葉集ゆかりの地を撮影してきました。こちらでは、九州から東北まで、美しい万葉故地の風景写真50点を展示して、歌とともに味わっていただきます。

9月8日(土)
▼
10月8日(月・祝)

開館時間:午前9時～午後6時(入館は午後5時15分まで)
休館日:毎週火曜日
観覧料:一般 210円
中学生以下 無料
65歳以上 160円
団体(20名以上) 170円

担当研究員による展示解説 ※30分程度

- ① 9月8日(土)午後4時20分 (高岡万葉セミナー終了後)
- ② 10月7日(日)午後3時 (記念講演会終了後)

会期中のイベント

2018高岡万葉セミナー 「大伴家持歌をよむ II」

3人の著名な万葉研究者が、鋭い切り口で越中以後の家持の歌世界を紐解きます。

9月8日(土)
受講料:3000円(3講座分)

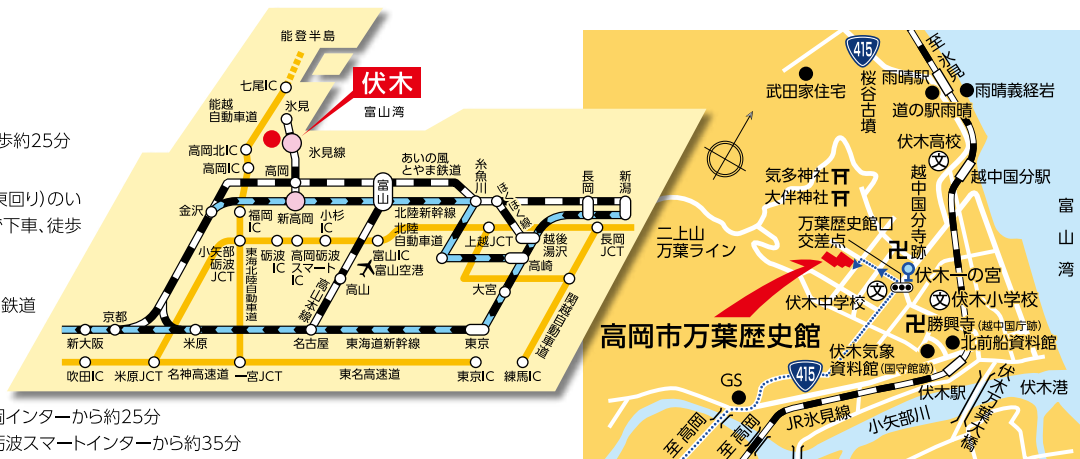
manrekiで万葉歌人になろう! 万葉衣装体験

9月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝)
22日(土)・23日(日・祝)・24日(月・振休)
午前9時～午後4時

体験料金(観覧料込):一般500円 小学生から高校生300円

交通のご案内

- 最寄り駅・JR水見線 伏木駅から
【当館までの距離約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分
- JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から
【バス】加越能バス伏木方面(西回り)、伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し、「伏木一の宮バス停」で下車、徒歩約7分
【タクシー】約20分
※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります(所要時間約10分)
- お車で
【能越自動車道】高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分
【北陸自動車道】小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11 TEL:0766-44-5511 FAX:0766-44-7335
E-mail:manreki@takaoka-bunka.com URL:http://www.manreki.com

歴史館の最新情報、日々の出来事はツイッターで 家持くん @manreki いけぬし君 @ikenushi おおいづつめちゃん@oiratsume 万葉人・高岡市万葉歴史館館長@akahitomusimaro